

## 専攻紹介

### 国際平和学専攻

#### 特色

創価大学は、グローバル化の加速に伴いかつてない変化をしている国際社会を牽引する創造的「世界市民」(Global Citizenship)を養成するために、「平和で持続可能なグローバル社会の構築」に関する高度な研究を推進し、その研究成果に基づいた教育プログラムを実施する新たな修士課程プログラムとして、2018年4月に「国際平和学研究科」を開設します。

#### 領域／研究・教育の内容

本学の大学院修士課程「国際平和学研究科」は、グローバル化に伴い生ずる問題の解決のために、国家間の紛争の原因を扱う「国際関係論」と、非国家主体も含めた様々な形態の矛盾・対立を扱う「平和学」を含む「国際平和学」を中心的な研究対象とし、各分野で実現可能な具体的政策や施策を構想できる学識を備えた人材の養成を目指します。

#### 教育方法／指導カリキュラムの特色

国際平和学研究科は、国際関係論と平和学を研究と教育の対象分野とし、そのカリキュラムでは、以下の科目を全て英語で開講します。

必修科目：国際関係の理論、平和・世界市民論、演習 I/II/III

選択必修：国際関係分野 7科目、平和学分野 8科目

選択科目：インターンシップ 2科目

専任教員 8名は全員博士号をもち、そのうち 7名は外国人教員です。入学定員は 16名とし、学生個々人の政策構想力と提言力の涵養を重視した少人数教育を実践します。

1年次前期終了時点で、学生はそれぞれの研究テーマや研究領域に応じて、指導教員 1名と副指導教員 1名を選びます。学生は、自身の研究テーマに対する専門的指導だけでなく、学際的視点や多様な方法論の助言を得ることができます。